

○オオバコ属の1新品種（田中俊弘・鄭太坤・酒井英二） Toshihiro TANAKA,
T.K. ZHENG & Eiji SAKAI: A new form of *Plantago*

著者らはオオバコ属の研究のために野外で採集した標本を検討した。次の1新品種を記載する。

Plantago depressa Willd. f. *magnibracteata* T. Tanaka et T.K. Zheng, f. nov. (Fig. 1).

A typo differt spicae basis bractis majoribus, foliiformibus, ovatibus, 8-12 mm longis, 2-5 mm latis.

ミムジナオバコ（新称）。

Hab. in viaticibus humidibus.

Spec. exam.: Liaoningsheng, Changhaixian; 29. V. 1983. Wan Xu-Shan 615-1 (Type in Herb. Liaoning College of Traditional Chinese Medicine).

この品種の母種との主要な区別点を述べる。穂状花序の基部に大型の苞片をそなえており、苞片は葉の様になっており、卵形、長さ8-12 mm、幅2-5 mm（母種の苞片の長さは2-3 mm、幅0.5-1 mm）。

本研究にあたり、中国科学院沈陽応用生態研究所李冀雲副研究员、張桂茅と馮金環工程士、遼寧中医院院万緒山講師、沈陽藥学院呉維春講師および遼寧中藥研究所宋家宝助理研究员、岐阜薬科大学水野瑞夫教授の援助を得たことを心から感謝する。（岐阜薬科大学 薬草園研究室・遼寧中医院院 藥用植物教研室・岐阜薬科大学 薬草園研究室）

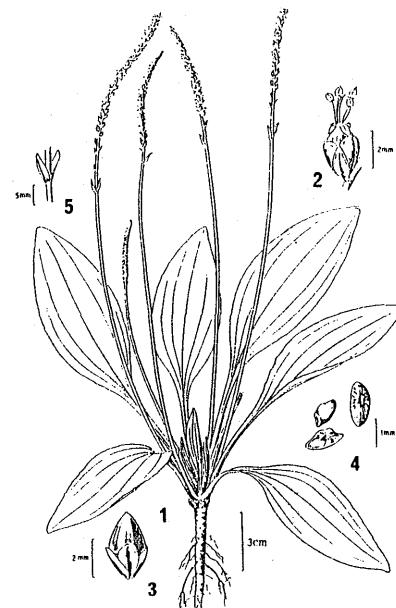


Fig. 1. *Plantago depressa* Willd. f. *magnibracteata* T. Tanaka et T.K. Zheng. 1, whole plant. 2, flower. 3, fruit. 4, seed. 5, bract.

□会津生物同好会：会津の巨樹と名木 324 pp. 1990. 同会. ¥3,000. 会津生物同好会が創立30周年を記念して同地方の巨樹名木の調査を行ったものである。1頁に2件ずつ、説明と白黒写真が配置されている。巻末に樹種別の胸高幹周の順位表があり、10 m 以上のものにはイチョウ、エドヒガン、カツラがある。

（金井弘夫）